

# リサイクル燃料備蓄センターの 事業開始について



令和6年11月  
むつ市

## 前回特別委員会開催以降のこれまでの主な経緯

8月22日

✓ 市議会特別委員会の開催

9月26日

✓ リサイクル燃料備蓄センターへの1基目の金属キャスク搬入

11月6日

✓ RFSが原子力規制委員会から使用前確認証を受領

11月7日

✓ RFS、東京電力HD、日本原子力発電による事業開始報告

# リサイクル燃料備蓄センターへの1基目の金属キャスク搬入

- ✓ 9月26日に、柏崎刈羽原子力発電所から使用済燃料を収納した金属キャスク1基が搬入。
- ✓ 市及び県の担当部局において、安全協定に基づく立入調査を実施。

輸送船の接岸



キャスクの荷役



キャスクの陸送



<出典：東京電力HD株式会社webサイト>

## ◎ 立入調査結果のポイント

- 荷揚港岸壁における作業・検査状況、陸上輸送状況について調査し、**一連の作業が関係法令の遵守のもとに安全に終了したことを確認。**
- 併せて実施した環境放射線測定の結果でも、使用済燃料の受入れに伴う**周辺の住民及び周辺の環境への影響は認められなかったことを確認。**

# RFS、東京電力HD、日本原子力発電による事業開始報告①

- ✓ 11月7日に、宮下知事と山本市長による貯蔵建屋の視察を実施し、使用済燃料が収納された金属カスクの保管状況を確認。
- ✓ 同日、RFS、東京電力HD、日本原子力発電による事業開始報告に対応。

貯蔵建屋の視察



事業開始に関する報告



<出典：リサイクル燃料貯蔵株式会社webサイト>

## ◎ RFS高橋社長による事業開始報告のポイント

- 11月6日に、**原子力規制委員会から使用前確認証を受領**し、炉規制法に基づく事業開始となった。
- 引き続き、**安全最優先で事業に取り組むとともに、事業の透明性を高め、地域に根差した事業運営に努めていく。**

# RFS、東京電力HD、日本原子力発電による事業開始報告②

## ◎ 事業開始報告に対する市長発言のポイント

- 2000年11月に当市から立地可能性調査の依頼をさせていただいてから、これまでともに歩みを進めてきた**中間貯蔵事業の正式稼働を迎えたことは、むつ市政にとっても、大変意義深いもの**と受け止めている。
- 引き続き、**安全最優先で事業運営していただくとともに、適切な情報公開と広報活動によって、市民の皆様にも、事業の安全性に関する正しい理解を持ち続けていただけるように、誠意を持って取り組んでいただきたい。**
- 青森県共創会議において、今後、具体化して取り組んでいくこととされている、**当市の防災安全対策や地域振興政策への引き続きの協力**をお願いしたい。
- 最終貯蔵量5,000トン展望した中長期的な搬入計画について、キャスク調達の見通し、サイトの運用方針等の速やかな調整・検討を進めていただき、**将来的な2棟目建設への道筋をつけていただきたい。**
- **今後の論点は、搬出先の明確化に集中するものと認識**しており、次期エネルギー基本計画に明示的に示すことについて、先月開催された原子力政策地域会議においても、市として国に対して要望しているところであり、事業者の皆様にも、**このことには国とともにしっかりと取り組んでいただきたい。**

 今後も、RFSの事業運営に際しては、市として安全確保の状況をしっかり監視するとともに、当該事業の推進により、これまで以上に市政発展が図られるよう、関係機関と連携・協力し取り組んでいく。